

JAPONICA

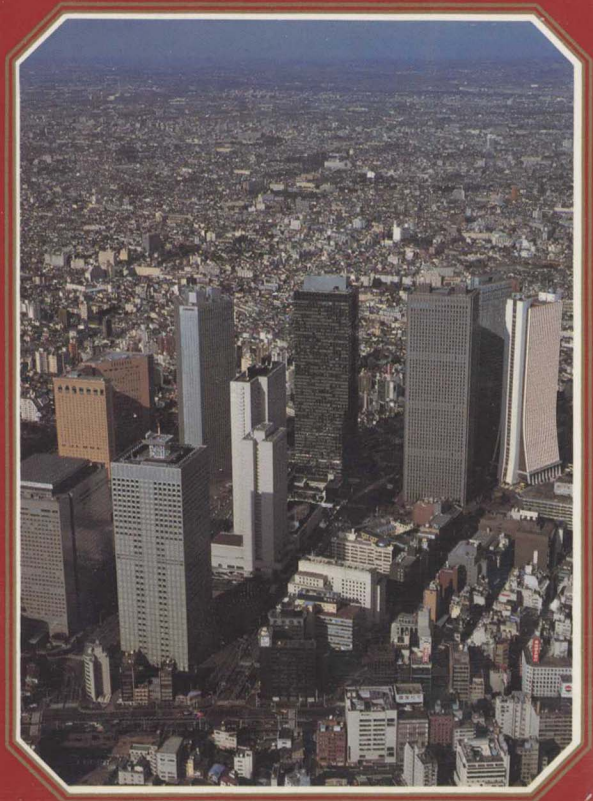
時事百科



世界と日本の最新情報



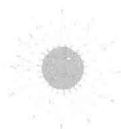
1983 小学館



ENCYCLOPEDIA
JAPONICA

時事百科

1983



大日本百科事典
編

小学館



JAPONICA

時事百科

1983

大日本百科事典 編

© 小学館 1983

定価4300円

昭和58年 3月30日

初版第1刷発行

編集著作	相賀徹夫
発行所	株式会社 小学館
郵便番号	一〇一
東京都千代田区一ツ橋二ノ三ノ一	
電話	編集・東京 〇三―三三〇―五六二〇 製作・東京 〇三―三三〇―五三三三 販売・東京 〇三―三三〇―五七二九
振替	東京八一二〇〇番

印刷者	凸版印刷株式会社
特 ア ート 紙 抄	三菱製紙株式会社
特 本 文 用 紙 抄	十条製紙株式会社
特 ク ロ ス 抄	ダイニツク株式会社
表 紙 箔	日本ミクロコピーンク株式会社
製 本	凸版印刷株式会社

* 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします

* 本書の内容の一部または全部を、無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ小社あて許諾を求めてください

Printed in Japan

ISBN4-09-529083-8

ENCYCLOPEDIA
JAPONICA

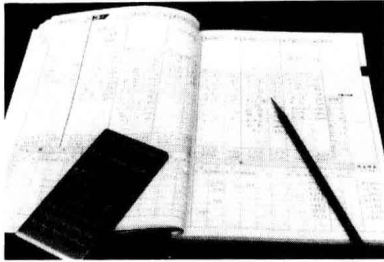
時事百科

1983



大日本百科事典
編

小学館



質への希求

草 柳 大 蔵

危機を意味するクライシスという言葉は、元来は「あれこれの選択の岐路に立たされた状態」をいうのである。この言葉の本来の意味において、一九八二年の日本列島は明け暮れたといえるであろう。

第一は、新陳代謝の現象がみられたことである。まず、その代表が「経済成長率」に対する受け止め方だ。政府の見通しは五・二五％で始まったが、一般の受け止め方は「高すぎるのではないか」であった。結果的には市民感覚のほうが正しく実質成長率は三・一％に終わったが、その要因として、従来の「財政の出動」と「輸出のドライブ」という景気浮揚の「助っ人」が作動しなくなったことがあげられる。経済界もこの二本柱に見切りをつけ、労働の質の向上による付加価値の増加をはかるためエレクトロニクス技術を導入し、このためO AやF Aの講習会がフィーバー現象を呈した。

社会現象では、大火災をだしたホテル・ニュージャパンの横井英樹や、役員会のクーデターで失脚した三越の岡田茂にみられるように、戦後の「成功物語」の主人公の世界からワンマン・タイプが没落してゆくことが明らかになった。

第二に、一つの事故が大量の犠牲者をだすという、文明上の問題突きつけられた年でもあった。ホテル・ニュージャパンの火災では死者三三人、重軽傷者二九人。この事故の翌日(二月九日)、日航DC-8が羽田沖に墜落、死者二

四人、負傷者一五〇人をだした。機長は精神分裂病だった。翌月、佐世保市でタンカーが炎上、作業員一〇人が死亡。秋には札幌市のスーパー周辺に発生した食中毒者が五〇〇〇人を突破した。以上のような事件を眺めていると、われわれはいま、文明軸上のどのあたりを、どのような姿勢で歩いているのか、強い反省を始めなければならないように思われる。

八二年から大衆にも親しくなってきた「新時代の3L」とはL S I、レーザー、ライフサイエンスのことであるが、これも単一な原理(たとえば企業原理)だけに任せておくと、過剰情報時代を招来しないとも限らないであろう。

第三に、「低成長」が一般原理として認識された年であるが、大衆の感覚としては国民生活白書が語っているように「生活の質の維持向上をはかる消費意欲の根強さ」があらわれだした。それでは「生活の質」とはなにかということになると、これは個人の価値観にかかわる性質の問題であり、しよせん言語や記号などでデジタル的には表示できないものである。しかし、たとえば家計支出に占める教養費、娯楽費、交際費などの人間的充足感につながる費用の増大が、これからの日本人の「生き方」を物語っているのではないだろうか。

商品から芸能まで「軽・薄・短・小」が歓迎されたこの一年でもあるが、これをどう整理してゆくかが、これから

《評論家》

はしがき

錯綜する現代社会で、明確な指針をつかむことはむずかしい。本書は、この不透明な時代に対処するための確かな情報が得られるよう、企画、編集した時事問題の百科事典である。一九八三年版は八二年一年間の出来事が中心となっているが、あわせて最近数年間の時流を手短にとらえ、八〇年代全般の動向をも展望できるように配慮した。執筆には第一線の学者、研究者、ジャーナリストがあたった。高度な内容を正確に記述、かつ興味あるエピソードを盛り込み、親しみやすく表現することにとめた。各項目ともたんなる事実の解説にとどまらず、ひとつの

問題提起がなされているはずである。巻末の索引には、約二八〇〇項目を収録した。見出し項目としてはたてられていないが、本文のなかで触れている事柄を見つづけるのに、また、見出し項目ではあっても他項目にも解説がある場合、併読するのに役だつので、広く活用していただきたい。文中、敬称は原則として省略させていただいた。また、年代は西暦を用い、必要に応じて、()内に日本年号を入れたが、いくつかの事項に限っては、とくに日本年号を用いた場合もある。そのほか、くわしい凡例については各編の扉に掲げてあるので参照されたい。

本文目次

ドキュメント一九八二

事項編 五十首順

25

今日の焦点

食糧戦略…42／税金…48／テレビ30年…54

一般項目は分野別項目一覽参照

各国編

313

世界の現況

314

アジア／中東・アフリカ／ヨーロッパ
南北アメリカ／オセアニア

各国(五十首順)

318

県勢編

377

各県(コード順)

378

指定都市

416

人物編一九八二(五十首順)

418

人物スポーツトライト——話題の人間像……

418

ノーベル賞・芥川賞・直木賞各受賞者、文化勲章

Topics一覽

IBM事件	148
アラスカの「善政」	148
(アメリカ)	
海洋法会議	136
学校給食	319
韓国プロ野球	278
国語純化運動(韓国)	94
自然を守る反基地運動	347
障害に関する用語	390
小学館漫画賞受賞者	178
昭和軽薄体	299
食品成分表の改訂	183
食管制度	256
心身症	153
新設美術館二九八二年	264
スフィンクスのひげ	256
(エジプト)	
千里ニュータウン	328
緑化のたかい20年	401
総合屋	182
談合	156
地方出版	176
利質フェスティバル	74
飛ぶボール、飛ぶクラブ	146
PLLO	219
被爆者	259

事項編分野別項目一覽

今日の焦点

食糧戦略	42
税金	48
テレビ30年	54
超大国の「第三の武器」……	
不公平税制の実態を探る……	
ブラウン管でみる「時代」……	

核	86	国内政治	103
国際連合	134	行政改革	110
国連環境会議	142	警察	115
社会主義	167	憲法	123
人口問題	187	皇室	127
人種・民族問題	190	公務員	128
石油	205	公明党	148
中東問題	218	財政	150
超大国	219	裁判	156
南北問題	234	自衛隊	167
難民	235	社会主義	169
反核運動	259	社会保障	170
フォークランド紛争	271	社会民主連合	173
北方領土	295	自由民主党	182
情報公開	190	新自由クラブ	182
国際経済	131	新自由クラブ	182
エネルギー	70	選挙	202
エレクトロニクス	71	地方自治	206
金	105	同和問題	215
経済協力	109	日本共産党	230
国際通貨	132	日本社会党	250
コンピュータ	147	法律	251
自動車	166	民社党	299
人口問題	187	外交	82
水産業	195	教科書	102
石油	205	経済協力	109
南北問題	234	自動車	166
半導体	262		
貿易	286		
国内経済	138		
株式	94		
金	105		
金融	106		
クレジットカード	108		
鉱業	119		
国民生活	140		
雇用	144		
財政	148		
産業動向	155		
商法改正	181		
水産業	195		
石油	204		
石炭	205		
地価	214		
中小企業	217		
貸金	223		
テクノポリス	224		
農業	254		
百貨店・スーパー	268		
物価	273		
防衛産業	285		
貿易	286		
労働	127		
公務員	127		
雇用	144		
サラリーマン	153		
賃金	223		
労働運動	306		
環境・公害	117		
公害	117		
国連環境会議	142		
自然保護	163		
住民運動	172		
都市問題	231		
資源	70		
エネルギー	84		
海洋開発	119		
鉱業	195		
水産業	204		
石炭	204		
石油	205		
捕鯨	294		
運輸・通信	301		
航空	120		
高速道路	124		
交通運輸	125		
国鉄	137		
私鉄	164		
自動車	166		
新幹線	184		
新交通システム	186		
船舶	208		
電話・通信	228		
リニアモーターカー	302		
預貯金	301		
林業	303		

受章者、学士院恩賜賞・芸術院恩賜賞各受賞者、
主要国指導者、政党党首、タレント、スポーツ界
のスターなど

● **本と人** 442

● **人物メモリアル**——著名物故者 445

ジャンル百科便覧

449

芸術、地理・歴史、社会、科学、動物・植物、
スポーツ記録、国勢調査人口

執筆者・写真資料提供者一覧

索引 477

カラー特集

中曽根外交の初仕事―日米、日韓関係の亀裂を修復... 9

【ニュースアラカルト】

世界に広がる平和運動のうねり 10

モナコのシンデレラ逝く 10

ソ連のブレジネフ書記長死去 11

フォークランド紛争 11

苦悩するポランド 11

欠陥ホテル大火災 12

浩宮さま、ブラジルを公式訪問 12

北国接近、二つの新幹線開業 12

レオ、新球団結成4年目で日本一 13

SKD、浅草からさようなら 13

日航機、羽田空港沖に墜落 13

さまよえるパレスチナ人 14

日本の防衛―自衛隊の新鋭兵器 16

《話題の美術》―一九八二年の展覧会から 20

《話題のステージ》―一九八二年の公演から 22

サンデー・ファイバー―東京・原宿 24

名山を歩く 24

数寄屋の美再現―桂離宮 24

東京の超高層ビル群 248

用語

比例代表制
フオンダ、バークマン、
グレースの死 207

ブレジネフの一八年
(ソ連) 70

ペルラ村の独立騒動
(スイス) 344

ホスピス 340

ホームステイ 99

マツタイムシ 96

マンモス国勢調査(中国) 304

緑の党(西ドイツ) 350

南硫黄島 163

ミニバイク 353

若者言葉(一九八二年) 188

一般炭 272

エグゾセ 205

MXミサイル 87

カントリー・リスク 139

技術的失業 110

クルーガーランド金貨 206

構造型過失犯 118

国連包括交渉 235

固体天然ガス 148

ジョセフソン素子 71

シリコンバレー 263

STARR(スタート) 158

スターリングエンジン 87

セーフガード 288

ゼロ・クーポン債 107

センサー 230

戦争水域 272

第五世代コンピュータ 310

第二薬局 148

中期業務見積もり 216

デモンストレーション効果 132

燃料電池 158

バイキングパワー 64

モカトロニクス 148

リニユーアル抗体 269

林業 303

犯罪
犯人問題 272

文化
アニメーション 61

コンピュータ
地震 147

愛国心 60

医療 63

右翼 67

親子問題 78

覚せい剤 90

過激派 91

観光 98

観光 98

ギャンブル 101

薬 107

クレジットカード 108

高齡化社会 129

国民生活 140

子供 143

サラリーマン 153

事故・災害 160

社会保障 169

住宅 171

住民運動 172

生涯教育 177

障害者問題 177

消費者運動 180

情報公開 182

人口問題 187

新語・流行語 188

銭湯 200

中国残留孤児 214

町内会 221

著作権 222

同和問題 230

都市問題 231

難病 233

年金 253

反核運動 259

犯罪
物価 273

文化
囲碁 62

コンピュータ
自然保護 162

ふるさと村 274

法律 291

ホテル 296

老人問題 305

ロッキード裁判 310

若者文化 310

生活 77

オーディオ 78

親子問題 97

玩具 101

ギャンブル 107

国民生活 140

住宅 171

食品 183

新製品・新システム 191

人気商品 252

年金 253

ファッション 269

物価 273

宝飾 288

預貯金 301

レジャー 304

教育 78

親子問題 93

学校教育 102

教科書 130

国語 143

子供 177

生涯教育 200

性 210

大学 210

幼児教育 300

反核運動 259

文化
映画 67

コンピュータ
臓器移植 209

演劇・舞踊 72

オーディオ 73

音楽 77

学術調査 79

建築 87

広告 114

国語 122

古代史発掘 142

宗教 170

将棋 179

デザイン 225

図書館 232

博物館 257

美術 264

ビデオディスク 267

ファッション 269

文学 279

文化財保護 284

漫画 297

若者文化 310

科学・自然 63

医療 65

宇宙開発 71

エレクトロニクス 84

海洋開発 85

科学技術 92

火山活動 95

川崎病 96

癌(がん) 100

気象 113

原子力開発 275

プロレス 276

コンピュータ
新素材 193

映画 67

天文 227

電話・通信 228

バイオテクノロジー 256

半導体 258

リニアモーターカー 302

ロボット 309

ワイドプロセッサ 312

映画 67

出版 175

CM・C・F 158

広告 122

新聞 188

新語・流行語 194

タレント 211

著作権 222

PR誌 263

放送 289

スポーツ 111

競馬 112

ゲートボール 121

高校野球 145

ゴルフ 196

スポーツ界 199

相撲 213

探検・冒険 230

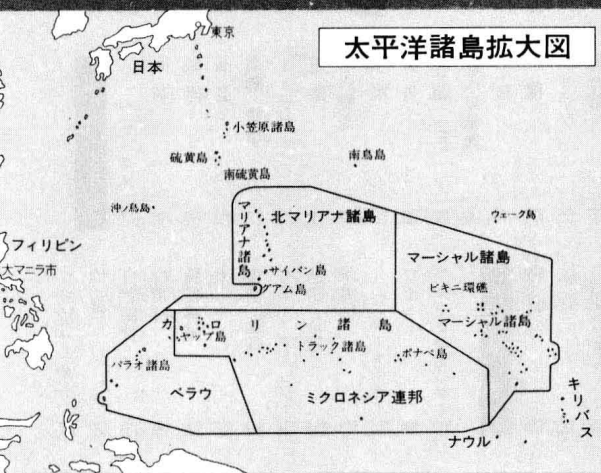
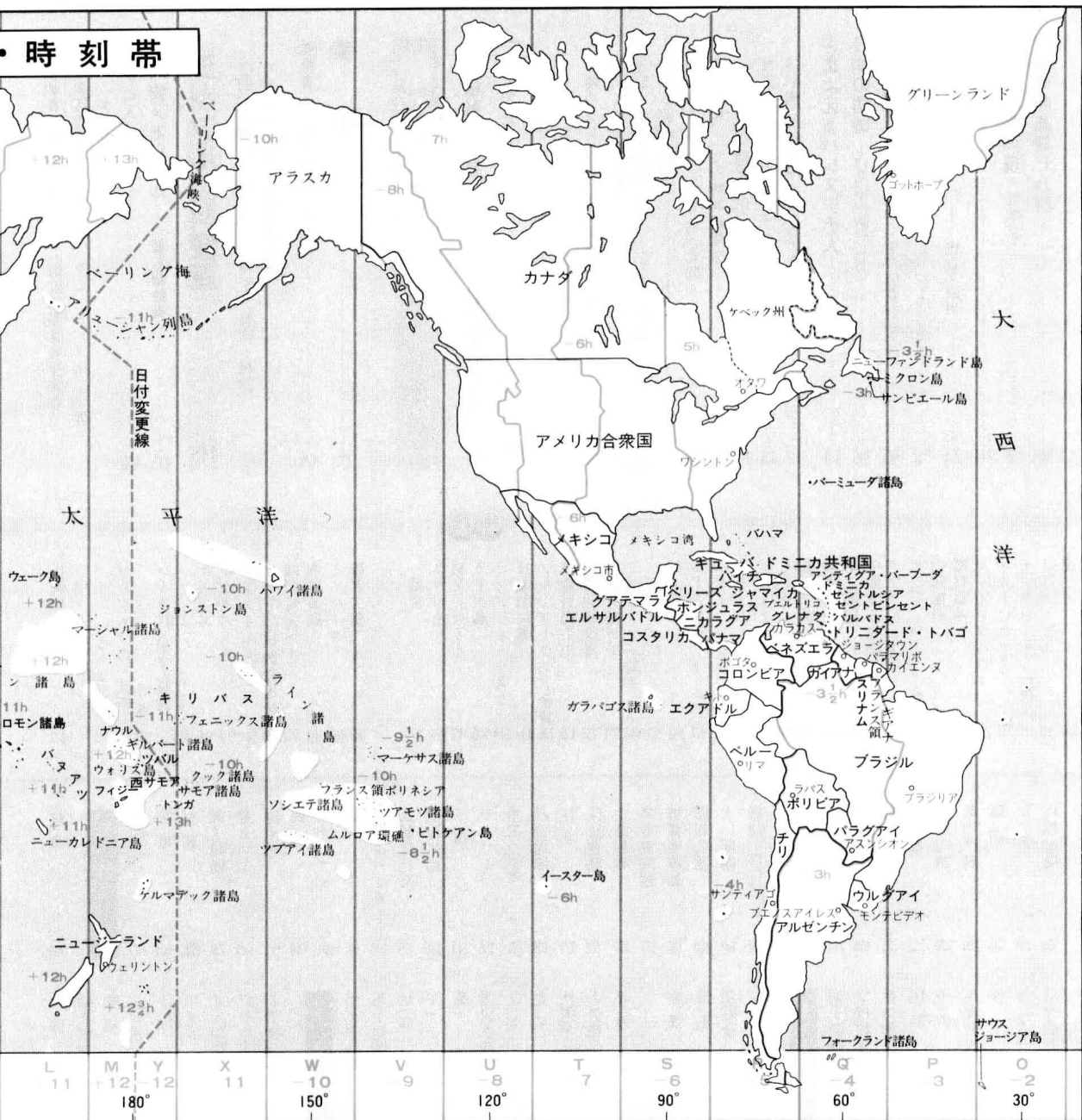
登山 275

プロボクシング 276

プロ野球 276

プロレス 276

時刻帯





編集協力 株式会社 三友社

中曽根外交の初仕事

日米、日韓関係の亀裂を修復



第1回会談終了後、ホワイトハウス南庭で内外記者団に語る日米両首脳。中曽根首相は原稿なしで英語のスピーチを試みた(83年1月18日)



ソウルの表玄関(大統領官邸)で会談に臨む中曽根首相と全斗煥大統領(83年1月11日)

一九八二年一月に就任した中曽根首相は、前政権が先送りしていた日米、日韓の懸案をいっきよに処理せんと、八三年の年明けそうそう外交活動を意欲的に展開した。まず一月一日にソウルを訪れ、共同声明で韓国の防衛努力を評価。ついで、同一七日にはワシントン入りし、レーガン大統領との会談で「日米は太平洋を挟んだ運命共同体」との認識を表明した。一連の首脳外交は、よかれあしかれ、中曽根政治の本質を余さず浮き彫りにした



世界に広がる平和運動のうねり

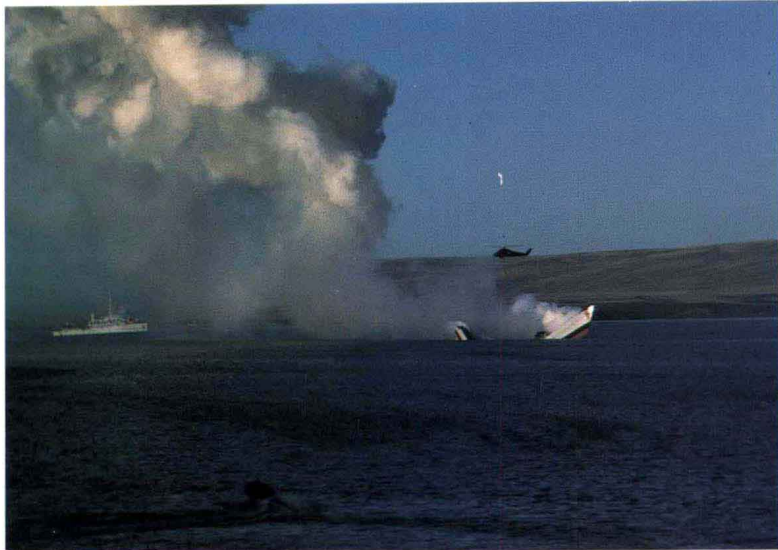
1982年は、世界の平和運動史上とくに記憶されるべき年となった。米ソの核兵器競争はとどまるところを知らず、「核による地球の危機」は、いまや人類共通のテーマとなっている。81年からヨーロッパをはじめ、アメリカ、日本などで多発的に盛り上がった反核運動は、82年に入って、6月の第2回国連軍縮特別総会で頂点に達した。日本の各団体が集めた反核署名は、じつに8000万をこえ、6月12日にはニューヨークで100万の米市民らがデモを繰り広げた(写真)



モナコのシンデレラ逝く

かつて、ハリウッドの女優から王妃へと華麗な転身を遂げ、世界の女性の羨望の的となったモナコのグレース王妃が、1982年9月14日、自動車事故で52歳の生涯を閉じた。81年、夫妻で来日した記憶もまだ新しい。女優時代は『真昼の決闘』『モガンボ』『喝采』などに出演して人気を集め、55年にはアカデミー主演女優賞をうけた。写真上は56年のレニエ3世大公との結婚式。左は9月18日に行われた葬儀





フォークランド紛争

1982年4月2日、アルゼンチン軍がイギリス領フォークランド(マルビナス)諸島を占領したことから、同島をめぐる両国は戦争状態に突入した。結果は、イギリスが圧勝し、2か月後に島を奪回することに成功したものの、この事件は領土問題の平和的解決が不可能に近いことを例証した。写真は爆沈するイギリスのフリゲート艦アンテロープ

苦悩するポーランド

労働者たちの団結による自由化の波が高まったポーランドでは、軍事政権による抑圧政策が行われている。1981年12月、全土に戒厳令が敷かれ、自主労組「連帯」のワレサ委員長以下多数の幹部が逮捕、拘禁された。戒厳令は1年後の82年12月に解かれたものの、混迷の度はより深まっている。写真は82年5月の反政府デモと、それを阻止する政府軍

ソ連のブレジネフ書記長死去

1982年11月10日、ブレジネフ共産党中央委員会書記長兼最高会議幹部会議長が心不全のため死亡した。18年の長期にわたって権力の座にあった東側の盟主だけに、その死は世界の耳目を集めた。後継の新首脳が米レーガン政権との対決姿勢や中国との和解ムードをどのように処理するかが注目される。写真は、11月15日の国葬でブレジネフの棺をかつぐアンドロポフ新書記長





欠陥ホテル大火災

1982年2月8日未明、東京・赤坂のホテル・ニュージャパンが炎上し、死者33人をだす惨事となった。この火事でホテル側の防火対策に重大な手抜きのあったことが明らかとなり、横井社長の経営姿勢に非難が集中した

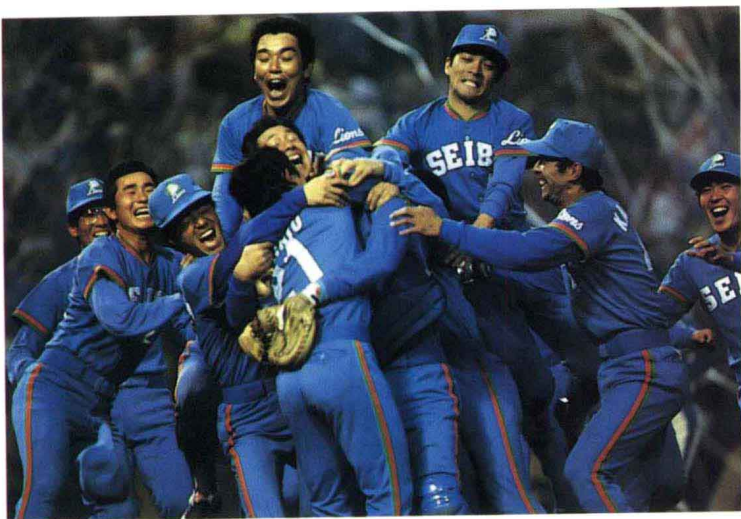
浩宮さま、ブラジルを公式訪問

1982年10月、浩宮さまは初の海外公式訪問国としてブラジルを訪れた。12日間の滞在中、各地で「シンパチコな(親しみやすい)プリンシビ」と、熱狂的な歓迎をうけられた。写真は、サルバドール空港に到着後、日本人学校の生徒から花束を贈られる宮さま



北国接近、二つの新幹線開業

1982年6月23日、岩手県盛岡―埼玉県大宮間を3時間17分で結ぶ東北新幹線が営業運転を開始した。大宮暫定始発などの紆余曲折はあったものの、これにより「遠いみちのく」のイメージは大きく塗り替えられることになった。また、新潟―大宮間を1時間45分で結ぶ上越新幹線も同年11月15日開業した。写真は、大宮近郊で分岐する東北(右)、上越(左)両新幹線

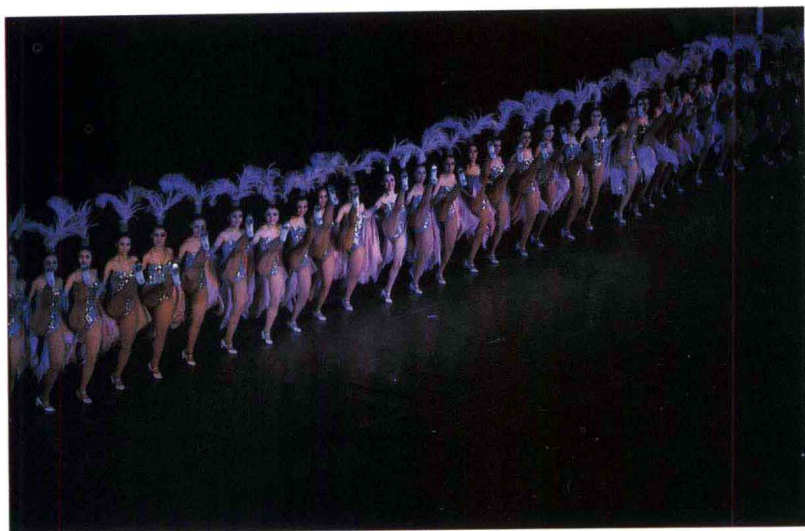


レオ、新球団結成4年目で日本一

1982年10月、西武は日本シリーズで中日を破り、プロ野球日本一となった。西武の前身、西鉄時代を含めると24年ぶりの優勝であった。就任1年目の広岡監督は、冷徹なまでの管理野球によって西武を勝利に導き、78年のヤクルトを率いての日本一とあわせて、セ・パ両リーグ制覇（史上3人目）をなしとげた。写真は、優勝の瞬間、マウンドに駆け寄って抱き合う田淵、東尾ら西武ナイン

SKD、浅草からさようなら

半世紀にわたって東京・浅草の国際劇場でレピュを続けてきたSKD（松竹歌劇団）が、1982年4月の公演を最後に、惜しまれながら浅草を去った。水の江滝子、草笛光子ら大女優を送り出したSKDも時代の流れには勝てず、今後は海外や地方公演で活動が続けていく。写真は、最後の舞台上でラインダンスをご披露するSKD



日航機、羽田空港沖に墜落

1982年2月9日、福岡発の日本航空DC-8が、羽田空港への着陸を目前にして墜落、機体前部が折れ、死者24人、負傷者150人をだした。事故調査の結果、片桐機長の逆噴射などによる操縦ミスが原因であることが明らかにされたが、機長の健康状態にも問題があったとして、日航の管理体制があらためて問われることになった



さまよえる パレスチナ人

パレスチナ解放機構(PLO)がひとつの時代を終えた。1982年6月にレバノン侵攻を開始したイスラエル軍は、パレスチナ・ゲリラの軍事拠点をつぎつぎと短時日に制圧し北上。PLOが70年9月のヨルダン内戦で同国を追われて以来、解放闘争の本拠としてきた西バイルートを包囲した。ここに及んで、PLOは事実上降伏し、アラブ各地へ分散退去を余儀なくされた。1948年のイスラエル建国によって祖国を失ったパレスチナ人 440万の受難の歴史はまだまた続く



西バイルートから逃れるパレスチナ人たち。イスラム教徒支配地区はイスラエル軍に包囲され、わずかな家財道具だけでキリスト教徒支配地区の東バイルートへ向かう(7月)



レバノン南部のパレスチナ難民キャンプ。イスラエル軍の徹底攻撃でこれらキャンプの大半が破壊され、難民はふたたび難民となった

